

[12月6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

そば

小二

たかだわたる

佐藤菜扇先生

幼・小学1年参考手本

も

たまいそら

大平邑峰先生

ビテ
レ

小二
おがたたかし

尾形澄神先生

ゆき

小一
おがたかし

橋本玉扇先生

〔12月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本

汪文

小四 三浦洋子

板垣洞仙先生

小学3年参考手本

冬山

小三 仙石珠希

北村白琉先生

絵本

小四 前田志保

名越蒼竹先生

ば花た

小三
石崎奏来

田守光昭先生

[12月 6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 6 年 参考 手本

小六

宮下郁子

雪
國

千葉蒼玄先生

小学 5 年 参考 手本

歌子
守

小五
池田綾子

川村美泉先生

小六
森山さき

武館道

広瀬舟雲先生

小五

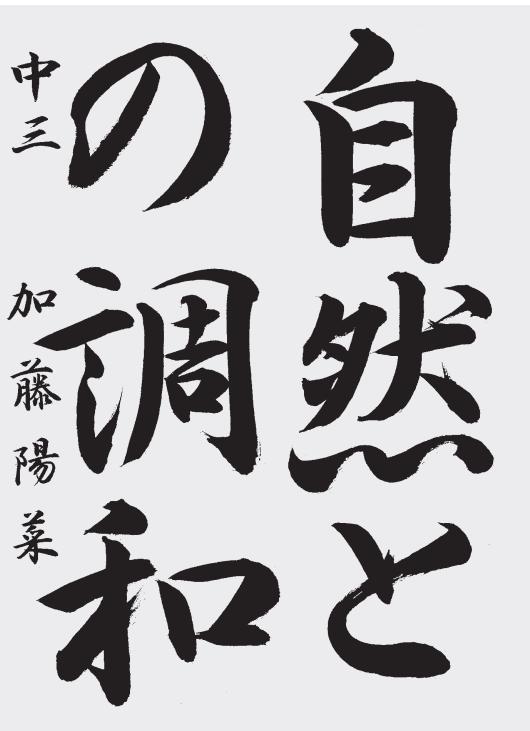
三浦洋子

師走

川島舟錦先生

[12月 6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

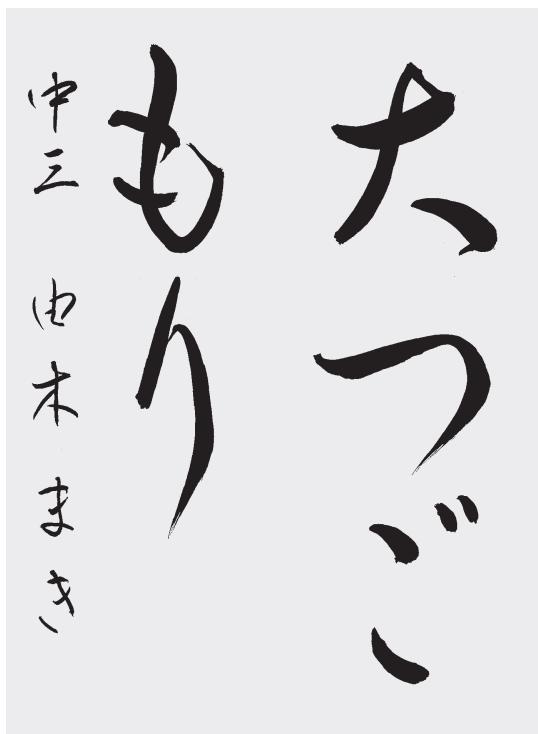
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



小竹石雲先生



後藤大峰先生



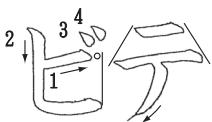
石井明子先生



辻元大雲先生

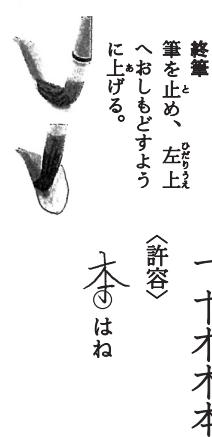
毛筆参考手本解説(1)

1年

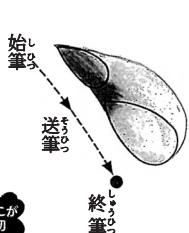


レ

比 礼 天
ヒ 天 四
レ テ



曾 曾 曾
じげん
波 波 波
は は は



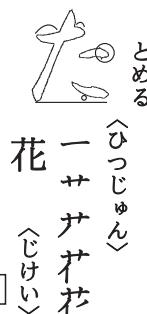
・ほ先の向きは、左ななめ上。
濃い部分は、ほ先の通り道。
筆圧の変化に気をつける。
「●」では、筆を一度止める。

2年



由 由 由
ひつじゅん
幾 几 几
ひつじゅん

始筆 点
送筆 気をつけて、下に引く。
終筆 「始筆・送筆・終筆」に



とめる

毛筆参考手本解説(2)

6年

中学

画と画との接し方

△玉の上下の
余白部は等しく
あける

雪国

止める

等間隔

雪雪雪

△許容

方向

はなす

四田田田田

筆順

そりは中心から
右下へ長くのばす

等間隔

道道

△筆順

ニテキ正

武武

二二

首首

等間隔

館道

三三

二二

一正

館館

合食飲飮

道道

二二

首首

しぶりょうう

△許容

方向

はなす

あけらる

方向

はなす

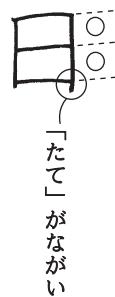
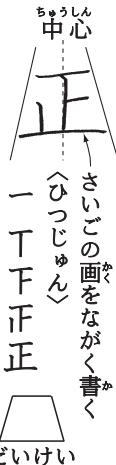
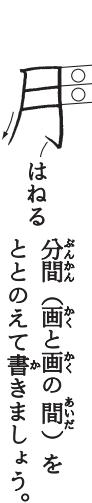
〔12月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 2 年

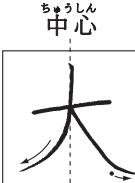
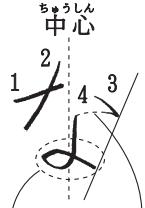
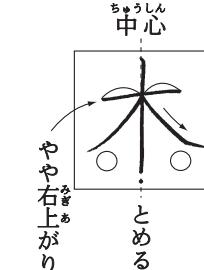
幼·小 学 1 年

支 部 名			
段・級			
学 年			
名 前			
九 谷 真	の し い お 正 月 で す	あ と 三 日 ね る と た	。

支部名		
だん・きゅう	つけ	大
がくねん	まし	き
一	た	な
なまえ	.	木
一 二 三 が そ う す け		を み



【お正月】
かんじの字形を正しく書きましょう。



『大きな木』
さやう
左右のはらいを、ていねいにかきましょう。

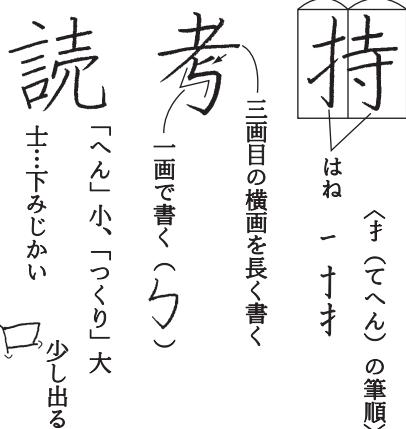
[12月6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年

小学3年

支部名	る	ん	会	
段・級	か	な	話	
学年	を	気	文	は
四	考	持	は	、
名前	え	ち	だ	、
小島大洋	て	で	れ	が
	読	話	だ	ど
	も	し	れ	い
	う	て	が	
	.			

支部名	白	い	坂	
段・級	し	も	道	
学年	も	だ	は	一
三	だ	つ	面	面
名前	春	た	の	の
	日	た	真	真
	七	。	つ	つ
	海			



『会話文』
「へん」と「つくり」の組み合わせを考えて
書きましょう。

『しも』
かん字の組み立てをよくかいして、字形を
正しく書きましょう。

『中心』 中心

『面』 少し出る
分間 (画と画の間) を
ととのえて書きましょう。

『道』 止めてから払いの方向に注意
首は中心より右側に

『坂』 かるく止める

筆順

一 フ而面面

〔12月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中 学 生 (行 者)

支 部 名	
段・級	
学 年	
中二	
名 前	飛鳥
矢 因 部 友 佳	るより、自転車がいいかも。

(行) 自転車

(楷) 自転車

(行) 飛鳥

(楷) 飛鳥

やさしい行書

※楷書と行書を
見比べてみて下さい。

中 学 生 (楷 書)

支 部 名	
段・級	
学 年	
中二	
名 前	飛鳥
部	は、のどかでいいところ
友 佳	らしいよ。バスに乗って散策するより、自転車がいいかも。



「飛鳥」（あすか）特に「飛」「乘」の筆順に注意して書きましょう。

これからのお作品締切日と課題

令和4年1月号～3月号までの作品締切日と毛筆課題

小 5
輸 日 ア
入 本 メ
し 多 リ
い カ と
ま の 農
す 産 貿
。 物 易
を で

幼・小 1
は お 正
し 正 月
す の の
か あ
で さ
す 。 さ

小 6
飛 タ 空
行 ワ ポ
許 ー 港
可 か の
が ら コ
出 四 ン
た 二 ト
。 二 ロ
便 一 ル

中学生
「スノーモンスター」とも呼ばれる蔵王の樹氷。その幻想的な景色が冬の連峰に広がります。
スノーモンスター

1月号の硬筆課題 ※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

中学生 (全学年共通)	小 6	小 5	小 4	小 3	小 2	幼・ 小 1	締切日
強い決意	改 善	千 鳥	賀 正	お 年 玉	学 ぶ	て ま り	わ
ゆき	温 故 知 新	富士山頂	計 画 案	新 年	元 日	カルタ	1月 10日
二 東大寺	樹 氷	建 築	寒 風	立 春	豆 ま き	ソ リ	1月
の 宿	窓 の 景 色	月 面 着陸	活 性 化	雪 原	外 国	あ ら れ	2月 7日
字 源 辞 典	春 風	将 来	再 利 用	活 気	生 き る	山	2月
の もすの たりかたり 春の海ひね	持 続 可 能	卒 業 写 真	伝 統	竹 馬	う ぐ い す	マ リ モ	3月 7日
							3月

小 2
ぼくは夜が明けるころ、
海につけられた。
、

小 3
んな 重
で い
運 カ
び バ
ま ン
し た
。
み

小 4
面 ク
に リ プ
光 ラ
つ ネ
て タ
い リ
ま ウ
し ム
た ガ
。 一 ス



書きを知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、書道芸術院展常任総務です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

縦書き用封筒の表書きとして記す宛先の「住所の第一字目の位置」と、「宛名（相手の氏名など）の第一字目の位置」の関係についてですが、次の三通りが考えられます。

① 住所の第一字目よりも、宛名の第一字目の位置を少し下げる書く。

② 住所も宛名の位置も両方とも高さをそろえて書く。

③ 宛名の方を住所よりも少し高く書く。

皆さんはどのパターンで書かれていますか。この三種類の形式は、それぞれいろいろな先人たちの主義主張があり、実はどれも誤りではありません。しかし児童生徒に教える立場として最も標準的なものは？と考えると、現在の小・中学校の書写的教科書に掲載されている①といえましょう。しかし後者の②③を支持する人は、②の方が、書く人が全部高さを揃えるという原則さえ守れば、字配りのバランスが楽に整うからよいといい、③は、住所よりも宛名の位置が高くなるので相手への敬意がより増すと考えるからよいと主張しているのを聞いたことがあります。そういわれると「そうかなあ」とも思えてきます。

ところで、小学校で①で教わり、素直にこの書式こそが一般的と考え、実践してきた者にとって、逆にどうして①がよいとされたのか、今回はあらためて考えてみることにしました。

(A)

武藏国多摩郡田無村
下田 半兵衛殿

(B)

埼玉県所沢市本町一丁目二一三
山本 竜之介様

(C)

埼玉県所沢市本町一丁目二一三
山本 竜之介様

歴史をずっと遡り、江戸時代の住所で書い

てみました。郵便番号も番地もなかった頃の例です。とても遠くから手紙を送る場合、その仕事を請け負った飛脚（郵便配達の前身）にとって一番必要な事柄が、配達先の真っ先に大きく分類できる国名（現在では県名にあたる地名）、この場合「武藏国」（現在では東京都と埼玉県にあたる）でした。次に分類するために必要なのが郡名で、その次が村名↓宛名の順となります。郵便番号が発明される以前の時代、これらは記載が見え易くなるべく目立つ方が、配達するうえでの分類効率が良かつたということになります。これが①の書式が生まれた理由だと考えられましょう。②③よりも配達する人が、少しでも仕分け作業のしやすい書式【配達者目線】による】が定着したものと思われます。

今度は同じ宛先例で、①の書式と②の書式で記して並べてみました。封筒上部に郵便番号の四角い枠がなかつた場合、(B)と(C)を比較してみると、(B)の方の上部の空き具合のバランスがよいようみえます。(C)では上部の空き具合がなんとなく詰まつた感じがします。日本では昭和43年に郵便番号が導入され、封筒上部に新たに色刷りの郵便番号枠が印刷されるようになりました。その結果、まず都道府県名の省略が可となり、郵便番号の記載があれば、市町村名等冒頭の住所が特に目立つ必要もなくなり、①②③どの書式でも書く上でバランスがとりやすくなりました。

(つづく)

第57回 封筒の書き方9（表書き）

今月のホープ



中三 平野莉音 (東葉支部)



小五 篠生悠馬 (恵泉支部)

しっかりと安定した筆使いで、行書のリズムもよく表現出来ています。学年名前もていねいで立派です。

大きな構えでどっしりと重量感のある作品です。名前のバランスも非常に良くホープ作品にふさわしい秀作です。

支部名	治田書道会
段・級	
学年	六
氏名	五十嵐萌衣
五十嵐萌衣	この牧場の牛乳は、 全國各地に売り出した。 びに品質が向上した。

小六 五十嵐 萌衣 (治田支部)

字形正確で美しく、丁寧に運筆しています。マス目一杯伸びやかで明るく、堂々として立派な作品です。

支部名	青華
段・級	④・級
学年	三
名前	佐藤隆一
佐藤隆一	記は有名な本です。フ ア リブル こん虫

小三 佐藤隆一 (青華支部)

漢字、カタカナ、ひらがなの調和が見事です。大らかで字形美しく、ますいっぽい力強い線が魅力の作品です。

1月号毛筆参考手本（予告）1月10日締め切り分

幼・1年

3年

5年

中学

タル
カル

りてま
り川和子

とら
小一 山口ゆか

わ
いとうめい

新年
小四 山下政夫

玉お年
小四 新山さち

元日
小三 三浦洋子

学ぶ
小三 三浦洋子

富士
小六 藤山高志

千鳥
小六 三浦洋子

案計画
小五 田中恒平

賀正
小五 太井雄也

ぼたん
中三 高井美子

決強意
中二 山田愛

知温故
中一 清水幸子

改善
中一 清水幸子

○今月号には濁点、さんずいの点、文字を構成する中に点を含む課題が多く取り上げられていきました。図解を今回は少し大きく掲載いたしました。チヨン・チヨンと雑に書かれてください。

○今回、筆ペンで書かれた月例硬筆作品が多くみられました。書写用具につきましては裏丁書きに記載されております。筆ペンは不可です。筆ペンで書かれた作品は規定違反になりますのでご注意ください。

○秋が深まつきました。先日、昇段級試験の審査が無事終了しました。結果はまもなく皆さんのお手元に届きますのでお待ちください。そして現在、事務所では全国学生書道展の準備を着々と進めています。11月号、小5の硬筆課題で運動場や競技場を意味する「ground」を「グランド」と表記しました。スペルに忠実に発音するのであれば「グラウンド」が正しいのですが日本語では「グランド」と表記することもあります。新選国語辞典（小学館）ではグラウンド＝グランド。その他多くの国語辞典ではグラウンド（グランド）と記載されました。どちらも間違いではありませんが「グラウンド」の表現の方が適していただけます。少し紛らわしい課題となってしまいまして。どちらも間違いではありませんが「グラウンド」の表現の方が適していただけます。少し大きめに掲載いたしました。今後は気付けて課題作成をしたいと思っています。

毛筆参考手本